

HONTAN

図書館ボランティア「本探」が 第31号
 司の図書館情報をお知らせします



2012年9月1日号
 ワクワクな情報が
 いっぱい!

12 PIECES

今回の12ピースのテーマは「これぞ青春! と思った本」です。部活、恋愛、サークルなどなど。眩しい青春小説を集めました!

とおかの 有川浩 913.6/A
おススメ! 『シアター!』
 解散の危機迫る小劇団「シアターフラッグ」の未来はどうなる!? 演劇に打ち込む大人たちの青春!

あんこの 伊坂幸太郎 913.6/I
おススメ! 『チルドレン』
 ちょっと変わった5人の大学生の青春ストーリー!

スーモの 恩田陸 913.6/O
おススメ! 『夜のピクニック』
 高校三年生という時期にみんな夜歩く。それだけのことがこんなにも特別だ。

空の 豊島ミホ 913.6/T
おススメ! 『リテイク・シックスティーン』
 「未来から来た」という友達の秘密。やり直しの高校生活。

伊え上の 三浦しをん 913.6/M
おススメ! 『風が強く吹いている』
 寄せ集めの陸上部員たち10人が箱根駅伝に挑む青春ストーリー。

のずみの 笹生陽子 913.6/S
おススメ! 『楽園のつくりかた』
 突如、ド田舎学校への転校を聞かされるエリート中学生の優。ここは楽園か、はたまた……?

きのこの 金城一紀 913.6/K
おススメ! 『レヴオリューションNo.3』
 オチコボレ男子校に通う僕たちは世界を変えるために全力を注ぐ

カノンの 佐藤多佳子 913.6/S-1
おススメ! 『一瞬の風になれ』
 信じ合える仲間、強力なライバル。神奈川県の高校陸上部を舞台に新たな挑戦が始まる。

あきの 森見登美彦 913.6/M
おススメ! 『夜は短し歩けよ乙女』
 好きな子のことを考えて、悩む大学生の青春劇!

なのかの 吉本ばなな 913.6/Y
おススメ! 『TUGUMI』
 つぐみは人より病弱だからこそ体現される生命力に魅了される。……いたずらばっかりだけど。

Y田の 小路幸也 913.6/Y
おススメ! 『ピースメーカー』
 中学内で対立する運動部と文化部。両者の架け橋「ピースメーカー」になる、放送部の奔走。

珠のおススメ! 橋本紡 913.6/H
『空色ヒッチハイカー』
 人生に一度だけの18歳の夏休み。受験勉強を放り出して、僕は旅に出る。兄の残した車と、偽の免許証を携えて。

今月の1冊

「クリームゾンの迷宮」
 貴志祐介 913.6/K

主人公・藤木芳彦はかつてサラリーマンだったがリストラされ、ホームレス生活を送っていた。ある日目が覚めると日本とは思えない土地におり、傍らにあった携帯ゲーム機にはメッセージが。
 「火星の迷宮へようこそ。ゲームは開始された。無事に迷宮を抜け出て、ゴールを果たした者は、約束通りの額の賞金を勝ち取って、地球に帰還することが出来る」
 ゼロサム・ゲームの中で繰り広げられる命を賭けたスリル満点のサバイバルは、次の展開が気になり、一気に最後まで読んでしまいます。(セ味)

es(エス)778.72/E
 この映画は1971年にアメリカのスタンフォード大学で実際に行われたスタンフォード監獄実験を元にした映画

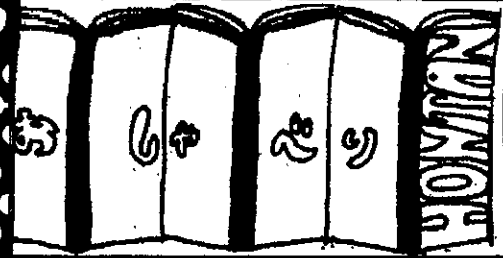
学生展示紹介

暑さが残りますが、秋到来!
 秋は「○○の秋」というフレーズが飛び交う時期ですね。そこで、今回は「食欲、読書、スポーツ」の3つの秋にスポットを当てて本を紹介いたします。(のずみ)

DVD展示紹介

先日まで甲子園、オリンピックなどで盛り上がっていましたね。たくさんのドラマが生まれました。そのため、今回はスポーツが題

HONTAN
 展
 示
 み
 の
 け
 っ
 け



のずみ; 私は、今年ドラマにもなった「ステップファイザー・ステップ」を読みました。ドラマは見ていないんですけどね。

あと、池上彰さんの本には時折お世話になりますね。政治に大変疎いので、「政治のことよくわからないまま社会人になってしまった人へ」を読みました。池上さんの本は説明がわかりやすくて好きです。

また、本屋大賞8位の「ビブリア古書堂の事件手帳」も読みました。装丁でビビッ!ときて、即買ってしまった(笑)

現在3巻まで出ているとのこと、近いうちに読みたいと思っています。

あき: 本屋大賞では「舟を編む」だけ読みました。

何となく主役は女の人だと思っていたので、男の人が主役で驚きました。

今年はサッカー選手などスポーツ選手の本がたくさん出版されているイメージがあります。

個人的には弟が持っていた「化物語」などの物語シリーズをひたすら読んでいました。

久しぶりにラノベみたいのを読んだのですが、やっぱり読みやすいですね。おもしろかったです。

あんこ: 私も「舟を編む」気になっているのですが、まだ読んでないです……。

みんなが飽きたころにでも読もうかなと思っています。

「図書館戦争」シリーズにはまってしまい、ずっと読んでました。来年に実写映画化されるそうなので楽しみです。

あと、辻村深月さんの本も結構読みました。

「凍りのクジラ」おすすめですよ!

きょう: 最近読んだ本というと、また「天地明察」を読み直しました!

映画公開がもうすぐなので。何度読んでも面白いです!

映画見る方はぜひ原作を読んでから見るのをお勧めします~。

振り返ってみるとあまり本を読んでいませんね……。

ただ、今新潮や角川、集英社文庫で夏フェアを行っているのので読みたい本はたくさんあるんですよー! 文庫ですが! 文庫は安価なのでつい買ってしまうですね。という雑談。

最近、一度読んだ本をもう一度きちんと読み直すことのほうが多いですかね……。

図書館戦争ももう一度読みたいですよー。見ると恥ずかしくなりますけどね! なりませんか!?

珠: 今回のおしやべりのテーマは、「2012年上半期、どんな本を読んだ?」です。

どんな本が話題だった?」です。

自分の読んだ本、話題になった本、意見、感想何でも語りましょう!

上半期は本屋大賞がありましたので、印象に残っているのはやはり三浦しをんさんの「舟を編む」ですかね。というかそれくらいしか頭に残っていないという……。

私個人は新書ばかり読んでいました。池上彰さんの著書はいつまでも人気みたいです。

空: 今年の本屋大賞の本はまだ全然読んでないです。「偉大なる、しゅらぼん」を以前読んでくらくらした。

「舟を編む」読みたいんですがなかなか図書館でお目にかからず……予約すればいいんですが。

それだけ北星の学生さんも気になってるってことですよ! 読めるのを楽しみにしています。

上半期は賞は関係なく伊坂幸太郎ばかり読んでました!

今まではほとんど読んでなかったんですが、「ゴールドスランバー」読んでハマってしまいました。

今度は映画で見たいと思います。



CASA BRUTUS NO. 149 August 2012

CASAにて、「暮らしを変える日々の生活のバイブル100冊!」という特集が組まれました。その中の「『やられちゃった』本のデザインの自慢話」というコーナーを紹介します。考えも付かない大胆さ、意外性、そして、つい手に取ってしまうほど引き付けられる存在感。いつか自分の感性を覆し、やられた!と思える一冊に出会ってみたいですね。→『語るピカソ』閑架 723.36/B (きょう) 閑架番号 CS 012779

コラム 傘の本探力

「理系の学問」

文系にとって理系の分野は疎遠のことのようによく思うことがあります。

理系の学問ってなんだか異次元のことのように思えますよね。ただ意外と理系の学問と文系の学問は密接な繋がりがあったりします。

心理学を少しでも勉強すると実感します。

現在では理系の分野の本も、あまり理系の勉強をしていない人が読んでもわかりやすいものが出てきています。ぜひ一度読んでみてはいかが?

HONTANが送る 横山館長さん情報

宏太通信

Q.ズビリ、館長さんの感じる北海道犬の魅力とは?
A.ソフトバンクのカイ君(お父さん)ほ、国の天然記念物である北海道犬です。

アイヌの人たちが昔から狩猟犬として飼っていました。器量がよく勇猛な忠犬で、飼い主の気持ちを読